

平成 26 年度

# 年報

山口県文書館

## 目次

I	概要		(7) 貸出	15
			8 刊行物	15
			26年度の刊行物	15
			9 地方調査員	15
			(1) 地方調査員会議	15
			(2) 地方調査員による文書調査報告実 績	15
			(3) 地方調査員名簿	15
			10 広報・普及	16
			(1) 広報活動	16
			(2) 第9回中国四国地区アーカイブズ ウィーク	16
			(3) 資料小展示	16
			(4) 古文書入門講座	17
			(5) 古文書専修講座	17
			(6) 古文書実践講座	17
			(7) 古文書活用講座	17
			(8) 歴史的公文書等の保存活用のため の連絡会議	17
			(9) 行政文書保存管理研修会	18
			11 研究活動	18
			(1) 研究実績	18
			(2) 研究会等	18
II	平成26年度業務報告		III 平成27年度の計画	
			1 業務	19
			(1) 保存対策	19
			(2) 刊行物	19
			(3) 普及活動	19
			2 職員	20
			3 地方調査員	20
			4 当初予算	20
1	沿革	2		
	(1) 設立	2		
	(2) 年表	2		
2	組織	9		
3	決算	9		
4	施設	9		
1	26年度概観	10		
2	収蔵状況	11		
3	調査	11		
4	収集	11		
	(1) 諸家文書	11		
	(2) 行政文書	12		
	(3) 行政資料	12		
	(4) 図書雑誌	12		
	(5) その他(特設文庫)	12		
5	整理	12		
	(1) 藩政文書	12		
	(2) 諸家文書	12		
	(3) 行政文書	13		
	(4) 行政資料	13		
	(5) 図書雑誌	13		
	(6) その他(特設文庫)	13		
6	保存対策	13		
	(1) 修理(行政文書)	13		
	(2) 修理(絵図)	13		
	(3) 資料燻蒸	13		
7	利用	13		
	(1) 文書館利用状況	13		
	(2) ホームページ利用者数	13		
	(3) 調査室(閲覧室)利用者数	13		
	(4) 閲覧者数の状況	14		
	(5) 閲覧文書点数の状況	14		
	(6) 特別利用の状況	14		

# I 概要

## 1 沿革

### (1) 設立

当館は、昭和34年4月に日本で初めての公立文書館として発足した。設立には、次の要因があった。

- ① 昭和27年に旧萩藩主毛利家から藩政に関する「毛利家文庫」約5万点の史料が県に寄託され、同文庫の保存と公開の措置をとる必要があった。
- ② 昭和12年に設けられた県史編纂所（終戦時に閉鎖）において収集・謄写した史料3千点の保存と利用を望む声があった。
- ③ 県立山口図書館は、明治36年の開館以来、郷土資料室の充実につとめて多くの原文書を収蔵しており、その効率的な利用が望まれていた。
- ④ 県立山口図書館郷土資料室には、県政発足以来の行政文書も収蔵されており、今後の継続的な行政文書の収集・保存・活用を図る必要があった。

これらの要望を充たす施設として、文書館の設立構想が立てられた。さらに山口県地方史学会による設立運動も行われ、昭和34年「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく県条例によって設置された。

### (2) 年表

昭和34年度 (1959)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
34.4.1	山口県文書館設置条例により県教育委員会の一組織として設立される
10.1	専任職員が配置される
12.18	書庫増築工事竣工（山口図書館）、引継文書の移管作業を開始
昭和35年度 (1960)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
35.4.1	閲覧業務を開始する
8.1	三浦家文書受託
11.30	「防長風土注進案12 山口宰判上」刊行
36.3.10	「防長風土注進案16 吉田宰判」刊行
昭和36年度 (1961)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
36.5.16	田中義一文書受託
6.15	「山口県文書館概要」刊行
6.15	「防長風土注進案1 大島宰判上」刊行
8.31	「防長風土注進案15 舟木宰判」刊行
10.30	山口県政発足九十年記念「明治初期県政史料展」開催
11.10	「防長風土注進案13 山口宰判下」刊行
12.10	「防長風土注進案2 大島宰判下」刊行
37.1.31	「防長風土注進案17 美祢宰判」刊行
3.30	「萩藩四冊御書附」刊行
昭和37年度 (1962)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
37.4.20	「防長風土注進案3 奥山代宰判」刊行
6.30	「防長風土注進案4 前山代宰判」刊行
8.8	徳山毛利家文庫受託
9.20	「防長風土注進案19 前大津宰判」刊行
11.5	学制頒布九十年記念「山口県教育史料展」開催（～11.9）
11.5	学制頒布九十年記念「山口県教育史料解説目録」刊行
12.10	「防長風土注進案5 上関宰判上」刊行
12.14	県庁行政文書年末収集開始

38. 2.10	「防長風土注進案 18 先大津宰判」刊行
3.30	「山口県文書館史料目録 1」刊行
昭和38年度 (1963)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
38. 4. 1	県行政文書の移管を開始（「山口県文書取扱規程」に基づく）
6.30	「防長風土注進案 6 上関宰判下」刊行
8.31	「防長風土注進案 7 熊毛宰判」刊行
10.25	国体開催記念展「目で見る山口県の歴史」を開催（～11.3）
10.25	「目で見る山口県の歴史」刊行
12. 19	山内家文書受託
39. 1.31	「防長風土注進案 20 当島宰判」刊行
3.10	「防長風土注進案 8 都濃宰判」刊行
3.26	山口県文書館条例が公布される（施行 39.4.1）
3.26	山口県文書館規則が改正される（施行 39.4.1）
3.31	山口県文書館設置条例が廃止される
昭和39年度 (1964)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>—7.5—木原立美<図書館長兼務>)
39. 5.31	「防長風土注進案 9 三田尻宰判上」刊行
7.20	「防長風土注進案 11 徳地宰判」刊行
9.20	「防長風土注進案 21 奥阿武宰判」刊行
10.17	近世交通史料展開催（～10.18）
12.10	「防長風土注進案 14 小郡宰判」刊行
40. 3.10	「防長風土注進案 10 三田尻宰判下」刊行
3.30	「山口県文書館史料目録 2」刊行
昭和40年度 (1965)	(館長 木原立美<図書館長兼務>)
40.6.1	山口県文書館規則一部改正
6.29	県教育委員会行政文書の移管を開始（「山口県教育委員会事務局文書取扱規程」の改正に基づく）
9.20	「文書館ニュース 1 号」刊行（以後年刊）
11.10	「豊浦藩村浦明細書」刊行
11.10	「文書館案内」刊行（以後不定期刊行）
41.3.30	「防長風土注進案研究要覧」刊行
昭和41年度 (1966)	(館長 兼清正徳)
41. 4. 1	山口県政史の編纂事業開始
5.10	廨に指定される
10.25	大村益次郎文書受託
11. 3	「防長風土注進案」の編集スタッフ、西日本文化賞を受賞
42. 3.30	「萩藩閥閥録 第 1 巻」刊行
昭和42年度 (1967)	(館長 兼清正徳)
43. 3.30	「萩藩閥閥録 第 2 巻」刊行
昭和43年度 (1968)	(館長 兼清正徳)
43. 4. 1	山口県文書館規則一部改正により、専門職員の職名が専門員となる
昭和44年度 (1969)	(館長 兼清正徳)
44. 4. 1	山口県文書館規則一部改正により、専門職員に研究職が適用される（職名は研究員・専門研究員）
45. 3.30	「萩藩閥閥録 第 3 巻」刊行
昭和45年度 (1970)	(館長 兼清正徳)
45. 4. 7	日本育英会法施行令の規定による研究所施設に指定される
46. 3.25	「山口県政史上・下」2巻刊行

3.30	「萩藩閥閥録 第4巻」刊行	
3.30	「萩藩閥閥録遺漏」刊行	
昭和46年度 (1971)		(館長 兼清正徳)
46.6.7	文部省史料館主催「近世史料担当職員講習会(西日本地区)」の会場となる	
7.1	地方調査員制度を発足させる	
47.3.1	「山口県文書館研究紀要 第1号」刊行(以後年刊)	
昭和47年度 (1972)		(館長 松村茂)
47.10.30	「山口県文書館史料目録3」刊行	
48.3.20	「山口県史料古代編」刊行	
昭和48年度 (1973)		(館長 松村茂)
48.7.23	新館舎が完成し、現在地に移転する	
7.23	新築移転記念「山口県文書館史料展」開催(～8.18)	
49.3.1	「山口県内所在史料目録 第1集」刊行(以後年刊)	
昭和49年度 (1974)		(館長 松村茂)
49.5.20	「山口県文書館史料目録4」刊行	
50.1.1	成人大学古文書解読講座に協力(以後平成11年度まで)	
昭和50年度 (1975)		(館長 田村武文)
51.1.20	「山口県史料近世編 法制上」刊行	
2.24	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(通称全史料協)の創立大会を開催	
昭和51年度 (1976)		(館長 田村武文)
52.1.10	「山口県史料近世編 法制下」刊行	
2.24	古文書・行政文書取扱者講習会(第1回)を開催	
昭和52年度 (1977)		(館長 田村武文)
53.2.22	古文書・行政文書取扱者講習会(第2回)を開催	
3.30	「山口県文書館史料目録5」刊行	
昭和53年度 (1978)		(館長 田村武文)
54.3.20	「山口県史料中世編 上」刊行	
3.20	「山口県行政文書仮目録戦前の部」刊行	
昭和54年度 (1979)		(館長 木梨亮一)
54.4.～11.	「萩藩閥閥録第1・2・3・4巻・遺漏」再版刊行	
5.～3.0	山口県古文書所在確認緊急調査を実施	
10.17	全国都道府県史協議会を開催(～10.18)	
昭和55年度 (1980)		(館長 高佐原茂郷)
55.6.17	有光家文書受贈	
昭和56年度 (1981)		(館長 平田豊彦)
57.2.20	「防長寺社由来 第1巻」刊行	
昭和57年度 (1982)		(館長 松本隆馬)
57.10.20	「防長寺社由来 第2巻」刊行	
58.2.20	「防長寺社由来 第3巻」刊行	
3.0	「防長風土注進案と同和問題」刊行	
昭和58年度 (1983)		(館長 山下義雄)
58.11.1	古文書解読(基礎)講座を開催(以後平成17年度まで)	
12.26	「防長寺社由来 第4巻」刊行	
59.2.20	「防長寺社由来 第5巻」刊行	
3.31	「両公伝史料仮目録」刊行	
昭和59年度 (1984)		(館長 山下義雄)

59. 6.12	県庁舎竣工記念展「目でみる萩から江戸へ」開催（13日間）	
60. 1.16	「防長寺社由来 第6巻」刊行	
3.26	山口県文書館条例改正（施行 60.4.1）	
3.26	山口県文書館規則改正（施行 60.4.1）	
3.30	「県庁伝来旧藩記録等仮目録」刊行	
昭和60年度（1985）		（館長 宮本幹雄）
60. 4. 1	副館長が置かれる（山口県教育委員会行政組織規則改正 60.3.29）	
10.29	有光家文書が県指定有形文化財に指定される	
61. 2.10	「防長寺社由来 第7巻」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅰ」刊行	
昭和61年度（1986）		（館長 宮本幹雄）
61.10.15	「萩藩閥閥録 第1巻」三版刊行	
62. 1.10	「萩藩閥閥録 第2巻」三版刊行	
1.30	「府県史料 山口県 1」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅱ」刊行	
昭和62年度（1987）		（館長 宮本幹雄）
62. 6.30	「萩藩閥閥録 第3巻」三版刊行	
11.11	「萩藩閥閥録 第4巻」三版刊行	
63. 1.14	「府県史料 山口県 2」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅲ」刊行	
昭和63年度（1988）		（館長 斎藤 博）
63. 7.11	「萩藩閥閥録遺漏」三版刊行	
11.30	「府県史料 山口県 3」刊行	
64. 1. 2	「萩藩閥閥録 別巻」刊行	
3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅰ」刊行	
3.30	「山口県文書館要覧」刊行	
3.30	「年報」刊行（以後年刊）	
平成元年度（1989）		（館長 那須 敬）
元. 9.16	開館30周年記念展示会「むら・まち・うら」開催（～10.15）	
10.10	開館30周年記念「絵図でみる防長の町と村」刊行	
11.30	「府県史料 山口県 4」刊行	
12. 3	開館30周年記念司馬遼太郎講演会「歴史の中の防長二州」開催	
2. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅱ」刊行	
3.30	開館30周年記念「山口県文書館の30年」刊行	
平成2年度（1990）		（館長 那須 敬）
2. 4.11	皇太子浩宮殿下山口県中世史研究のため来館	
11.30	「府県史料 山口県 5」刊行	
3. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅲ」刊行	
平成3年度（1991）		（館長 那須 敬）
3.11.30	「府県史料 山口県 6」刊行	
4. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅳ」刊行	
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 1940年代－1950年代」刊行	
平成4年度（1992）		（館長 松永精一郎）
4. 5. 0	古文書専修講座を毎月開催（以後毎年）	
6.22	有光家文書が国指定重要文化財（古文書）に指定される	
8.13	古文書活用講座を開催（～8.19、以後毎年）	
5. 3.31	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅴ」刊行	

3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1940年代完結簿冊文書」刊行	(館長 松永精一郎)
平成5年度 (1993)		
6. 3.31	「山口県文書館諸家文書目録1 柳井市金屋小田家文書第1分冊」刊行	
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録2 リーフレット・ポスター1940年代～1960年代」刊行	
平成6年度 (1994)		(館長 山本 直)
7. 3.31	「山口県文書館諸家文書目録2 柳井市金屋小田家文書第2分冊」刊行	
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1930年代完結簿冊文書」刊行	
平成7年度 (1995)		(館長 山本 直)
8. 3.29	「山口県文書館諸家文書目録3」刊行	
3.29	「山口県文書館蔵行政資料目録3 地図 1950年代まで」刊行	
平成8年度 (1996)		(館長 宮本典彦)
8. 6.25	山口県文書館整備構想検討会を開催 (以後 8.23、9.12、10.15 の計4回開催)	
11.20	山口県文書館整備構想検討会報告書作成	
9. 3.31	「山口県文書館諸家文書目録4」刊行	
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1910・20年代完結簿冊文書」刊行	
平成9年度 (1997)		(館長 宮本典彦)
9. 2. 1	企画小展示「毛利元就関係文書」開催 (～12月、毎月展示替え)	
4.30	「大内版妙法蓮華経板木」が県指定有形文化財に指定される	
10. 2. 1	文書館利用規程を改正	
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録4 1960年代第1分冊」刊行	
3.31	「山口県文書館諸家文書目録5 佐藤家文書」刊行	
平成10年度 (1998)		(館長 宮本典彦)
10. 4.21	古文書入門講座を毎月開催 (以後毎年)	
6.30	「大内版法華経板木」59枚が国指定重要文化財 (歴史資料) に指定される	
11. 1.21	第1回文書館ウィーク開催 (～1.27)	
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録5 1960年代第2分冊」刊行	
3.31	「毛利家文庫目録別冊1 公儀事諸控総目次I」刊行	
平成11年度 (1999)		(館長 宮本典彦)
11. 4. 1	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会研修研究委員会事務局を引受け	
12. 1.20	第2回文書館ウィーク開催 (～1.27)	
3.23	山口県文書館規則第3条第1項改正 (但書削除、土曜日全日開館)	
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録6 1960年代第3分冊」刊行	
3.31	「毛利家文庫目録別冊2 公儀事諸控総目次II」刊行	
平成12年度 (2000)		(館長 青木正典)
12. 4. 1	土曜日全日開館 (9:00～17:00) を開始	
13. 1.18	第3回文書館ウィーク開催 (～1.24)	
3.30	「山口県文書館蔵行政文書目録 1900年代以前完結簿冊文書」刊行	
平成13年度 (2001)		(館長 青木正典)
14.1.18	第1回文書館デイズ開催 (～1.20)	
3.29	「山口県文書館諸家文書目録6 上関町吉田家文書」刊行	
3.29	「山口県文書館蔵行政資料目録7 1960年代第4分冊」刊行	
平成14年度 (2002)		(館長 青木正典)
14. 4. 1	文書館資料保存修復事業・館藏品情報発信事業に着手 (緊急雇用創出事業)	
12.20	「山口県文書館特設文庫目録1 新聞文庫目録 (近代)」刊行	
15. 1.17	第2回文書館デイズ開催 (～1.19)	

3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録8 1940年代以前」刊行
3.31	山口県文書館ホームページ更新（文書館・博物館・美術館情報発信事業）
<hr/>	
平成15年度（2003）	（館長 村松優一）
15.4.1	文書館収集資料整理事業に着手（緊急雇用創出事業、～16年度）
16.1.23	第3回文書館デイズ開催（～1.25）
2.10	「山口県文書館特設文庫目録2 雑誌文庫目録（近代）」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊3 諸事小々控総目次I」刊行
3.31	ホームページに画像データベース（毛利家文庫絵図・写真・袋入絵図・ポスター・リーフレット）を追加
<hr/>	
平成16年度（2004）	（館長 村松優一）
16.10.27	第30回全史料協全国大会及び研修会を山口県総合保健会館で開催（～10.29）
10.29	山口県教育委員会事務局等公文書取扱規定の一部改正（11.1施行）
17.1.21	第4回文書館デイズ開催（～1.23）
3.31	「山口県文書館諸家文書目録7 上関町国行家・佐倉谷家・吉崎家文書」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録9 地図 1960年代」刊行
<hr/>	
平成17年度（2005）	（館長 木原 宏）
17.6.9	山口県行政文書（県庁文書12,597点、郡役所文書952点）が国指定重要文化財（歴史資料）に指定される
6.10	第5回文書館デイズ開催（～6.12）
18.1.20	第1回「山口お宝展」（重要文化財「大内版法華経板木」を展示）開催（～2.12）
2.28	「毛利家文庫目録別冊4 諸事小々控総目次II」刊行
3.30	「山口県文書館蔵行政文書目録5 一郡役所文書一」刊行
<hr/>	
平成18年度（2006）	（館長 木原 宏）
18.6.1	第1回中国四国地区アーカイブズウィーク「山口県文書館史料刊行事業展」・「備後山内氏と一豊をめぐる人々」開催（～6.7）
10.8	日曜開館（月曜閉館）を試行開始
11.10	第6回文書館デイズ「御屋形様の文書ー雪舟のパトロン大内氏ー」開催（～11.12）
19.1.19	第2回「山口お宝展」（吉田松陰所用の印章）開催（～2.18）
3.30	「毛利家文庫目録別冊5 諸事小々控総目次III」刊行
3.30	「行政資料目録10 リーフレット・ポスター 1970年代～1980年代」刊行
3.30	「山口県内市町村役場文書保存状況調査報告書」刊行
<hr/>	
平成19年度（2007）	（館長 熊嵯歳介）
19.4.1	日曜開館（月曜閉館）開始
6.1	第2回中国四国地区アーカイブズウィーク「街道を行く」開催（～6.7）
10.4	徳山毛利家文庫・将軍発給文書を公開（閲覧提供）開始
11.5	国文学研究資料館アーカイブズ・カレッジ〈短期コース〉の会場となる（～11.10）
20.1.18	第3回「山口お宝展」（村上水軍関係文書）開催（～2.17）
3.31	「諸家文書目録8 平生町佐合島佐川家文書 第1分冊」刊行
3.31	「行政文書件名目録1 山口県布達達書I 一明治4～10年一」刊行
<hr/>	
平成20年度（2008）	（館長 熊嵯歳介）
20.6.1	第3回中国四国地区アーカイブズウィーク「吉田松陰自賛肖像」開催（～6.8）
10.1	資料小展示「天璋院篤姫と長州一文書の中の篤姫一」（～11.16）
21.1.17	大学入試センター試験・日本史Aで当館のことが取り上げられる
3.21	第4回「山口お宝展」（鎌倉時代の塩浜絵図ー長門国正吉郷入江塩浜絵図一）開催（～4.19）
3.31	「諸家文書目録9 平生町佐合島佐川家文書 第2分冊」刊行

3.31 「行政文書件名目録2 山口県布達達書Ⅱ -明治11~14年-」刊行

平成21年度 (2009)	(館長 熊寄歳介)
(通年)	開館 50 周年記念として、資料小展示を「シリーズ アーカイブズを守る」という共通テーマで実施
(通年)	文書館情報発信充実事業
(通年)	全史料協事務局業務 (副会長 館長熊寄歳介)
21.6.2	開館 50 周年記念として、第 4 回中国四国地区アーカイブズウィーク「天下人と毛利氏-戦国のアーカイブズ-」を開催 (～6.9)
21.11.17	当館所蔵「吉田松陰関係資料」754 点が山口県指定有形文化財 (歴史資料) に指定
22.3.3	大内氏山口開府 650 年「山口お宝展」協賛展示 (「足利将軍の出した文書」～4.4)
3.31	「山口県文書館所蔵アーカイブズガイド-幕末維新編-」(開館 50 周年記念出版) 刊行
平成22年度 (2010)	(館長 熊寄歳介)
(通年)	文書館情報発信充実事業
(通年)	全史料協事務局業務 (副会長 館長熊寄歳介)
22.6.1	第 5 回中国四国地区アーカイブズウィーク「長州藩幕末維新資料」を開催 (～6.6)
8.8	行政文書保存管理研修会を開催 (102 機関 114 名参加)
10.15	国指定重要文化財 (歴史資料)「日明貿易船旗」と「高洲家文書」118 点が当館に寄託される
2.18	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (13 市町 30 名参加)
3.31	「行政文書件名目録3 山口県布達達書Ⅲ -明治15~19年-」刊行
平成23年度 (2011)	(館長 熊寄歳介)
(通年)	文書館情報発信充実事業
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 23 年度～平成 25 年度)
23.6.1	第 6 回中国四国地区アーカイブズウィーク「ポスター・写真・映像に見る昭和のやまぐち～昭和 38 年山口国体のころ～」を開催 (～6.5)
8.19	行政文書保存管理研修会を開催
11.1	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催
11.14～ 2.29	館改修工事につき全面休館
3.31	文書館のウェブページを全面的に更新し、検索データベースの件数を大幅に増やした。
平成24年度 (2012)	(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 23 年度～平成 25 年度)
24.6.1	第 7 回中国四国地区アーカイブズウィーク「絵図と古文書で歩く萩往還」を開催 (～6.10)
9.10	行政文書保存管理研修会を開催
11.1	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催
1.31	毛利家文庫遠用物 (近世後期) の整理を終了し、8,933 点の閲覧提供を開始
平成25年度 (2013)	(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 23 年度～平成 25 年度)
25.6.1	第 8 回中国四国地区アーカイブズウィーク「山口県災害記」を開催 (～6.9)
10.1	1950 年代行政文書の閲覧提供開始
11.1	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (12 市町、県ほか 35 名参加)
3.15	徳山毛利家文庫絵図の整理を終了し、224 点の閲覧提供を開始

- (通年) 重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 26 年度～平成 28 年度)
- 26.5.31 第 9 回中国四国地区アーカイブズウィーク「美術とアーカイブズ～古文書に見る防長の美術工芸品～」(～6.8)
- 6.13 1960 年代文書の閲覧提供開始
- 9.2 1970 年代文書の閲覧提供開始
- 10.31 歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催
- 11.7 行政文書保存管理研修会

## 2 組織 (平成 26.4.1 現在)

- 館長 (1 名) —— 副館長 (1 名) —— 専門研究員 (5 名)
- 総務 (兼務、2 名)
- 嘱託職員・臨時職員 (2 名)
- 地方調査員 (8 名)

## 3 決算 (一般会計、単位:千円)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
27,213	20,163	23,180	14,997	15,213	13,135

## 4 施設

県立山口図書館・点字図書館等と併設、構造は RC

敷地面積 10,169 m<sup>2</sup>、延べ床面積 9,819 m<sup>2</sup>

文書館面積 1,232 m<sup>2</sup> (利用者ゾーン 209 m<sup>2</sup>、業務ゾーン 235 m<sup>2</sup>、書庫<地下 2 層・新書庫>)

図書館面積 7,855 m<sup>2</sup>、点字図書館面積 190 m<sup>2</sup>、レクチャールーム面積 542 m<sup>2</sup>

書架総延長 本館書庫 6.31km、春日山書庫 3.00km、計 9.31km

## II 平成 26 年度業務報告

### 1 26 年度概観

今年度の主だった活動状況を概観すれば以下のとおりである。

#### アーカイブズウィーク

5月31日～6月8日に第9回中国四国地区アーカイブズウィーク事業を行った。これは中四国地区のアーカイブズが、おおむね6月上旬に一斉に広報・普及・啓発活動を行うもので、本館では「美術とアーカイブズ～古文書に見る防長の美術工芸品～」をテーマとして、アーカイブズ展示「古文書に見る防長の美術工芸品」、歴史探究講座「文書と防長ゆかりの美術品」及び「狩野古信の雪舟筆「山水長巻」模写について」、ギャラリートーク、アーカイブズ歴史小話、文書館を使ってみよう！などを行った。→P16

#### 調査活動

地方調査員制度による県内史料所在調査への協力助言等を行い、県史編さん事業の調査にも協力した。→P15

#### 収集

7氏から追加分含めて7件437点の寄託、9氏から9件1,597点の寄贈を受けた。→P11

#### 行政文書・資料の引継ぎ

県庁各課等から行政文書430点、行政資料3,515点を引き継いだ。→P12

#### 整理・保存対策

寄贈・寄託を受けた新収諸家文書の整理を進め、整理の終わったものについては逐次閲覧に供した。また藩政文書、行政文書、行政資料、図書の整理も進めた。→P12

資料の活用と保存を図るため、行政文書のうち損傷の顕著なものについて修理を行った。→P13

#### 普及啓発事業

アーカイブズウィークのほか、以下の普及啓発活動を行った。

##### 古文書講座

「古文書入門講座」「古文書専修講座」「古文書実践講座」の3講座を開設し、それぞれ通年10回実施した。→P17

##### 文書館活用講座

教員対象の「授業で使える文書館活用講座」を8月に4日連続で実施した。→P17

##### 歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議

公文書及び地域に伝存する文書記録類を歴史資料として保存活用することに関して、県及び市町相互の連絡と協調を図り、もって行政の円滑な推進及び文化の発展に寄与することを目的として、連絡会議を開催した。→P17

##### 行政文書保存管理研修会

県及び県内の市町が保管する公文書及び地域に伝存する文書記録類を歴史資料として保存活用することに関して、県及び市町相互の連絡と協調を図り、もって行政の円滑な推進及び文化の発展に寄与することを目的として、連絡会議を開催した。→P18

## 利用者

今年度の閲覧者は、2,076人（昨年度1,763人）、また、資料小展示の観覧者などを加えた入館者は4,823人（昨年度4,683人）であった。

閲覧者は一般、学生、公務員、教員の順に多く、県史編纂関係者の利用も目立つ。→P13

## 2 収蔵状況

(平成27.3.31現在)

藩政文書	諸家文書	行政文書	行政資料	図書	その他 (特設文庫)	総計
93,512	138,384	77,662	148,898	42,279	21,953	522,688

上記のうち、26年度新たに収蔵（整理、追加登録）した資料の点数は、次のとおりである。

藩政文書	諸家文書	行政文書	行政資料	図書	その他 (特設文庫)	総計
0	2,034	430	3,515	866	159	7,004

## 3 調査

4月23日	重井家（下関市）
5月23日	秋穂正八幡宮（山口市）
8月27日	安本家（下関市）
11月20日	原田家（周南市）
3月18日	曾根家（西東京市）
3月25日	旧湯野村役場文書（周南市）

## 4 収集

### (1) 諸家文書

#### (ア) 寄贈

内田伸採拓本史料	679点
影山家文書	37点
河崎家文書	3点
河野英男収集資料（追加）	53点
清川家文書	207点
佐々木均文書	199点
田中栄一収集文書	145点
原田萬吉家文書	269点
溝部家文書（追加）	5点

(計1,597点)

#### (イ) 寄託

熊野家文書	60点
雑賀家文書	133点
宍戸家文書	80点
林家文書	19点
古畑家文書（追加）	23点
宮内家文書	12点
山本家文書	110点

(計437点)

(2) 行政文書

各課（所）に廃棄予定文書の引継依頼を行い、430点を引き継いだ。引き継いだ文書の主なものは以下のとおり。

広報広聴課	127点
社会教育・文化財課	50点
市町課	17点

(3) 行政資料

・冊子	2,125点
・リーフレット類	709点
・ポスター類	671点
・地図類	10点
	(計 3,515点)

(4) 図書雑誌 866点

(5) その他（特設文庫）

次の資料を整理し、仮目録に追加登録した。

・一般郷土史料	8点
・教科書文庫	151点
・雑誌文庫	—

5 整理

(1) 藩政文書

(ア) 徳山毛利家文庫

未整理文書の整理をすすめた。

(2) 諸家文書

次の文書を整理し、仮目録を作成した。

名称	内容等	点数
内田伸探拓本史料	金石文拓本	679点
影山家文書	コレクション／萩藩士佐伯家	37点
河崎家文書	村長	3点
河野英男収集資料（追加）	コレクション／県職員	53点
清川家文書	内務省技師	207点
佐々木均文書	コレクション／県職員	199点
田中栄一収集文書	コレクション／下張文書	145点
原田萬吉家文書	市年寄／庄屋／コレクション	269点
溝部家文書（追加）	陸軍軍人	5点
熊野家文書	萩藩右田毛利家臣／戸長	60点
雑賀家文書	萩藩士	133点
宍戸家文書	萩藩士／書籍	80点
林家文書	大内氏／萩藩士／萩藩福原家臣	19点
古畑家文書	コレクション／鷺頭寺／塩田	23点
宮内家文書	大内氏／神官	12点
山本家文書	庄屋／副戸長／村長	110点

(計 2,034点)

(3) 行政文書

平成 26 年度収集文書 430 点について整理し、仮目録を作成した。  
1960 年・70 年代完結文書 13,966 点の閲覧提供を開始した。

(4) 行政資料

平成 26 年度収集文書 3,515 点について整理し、仮目録を作成した。

(5) 図書雑誌

平成 26 年度受入図書 866 点について、追加登録した。

(6) その他（特設文庫）

平成 26 年度収集資料 159 点について整理し、仮目録に追加登録した。

## 6 保存対策

(1) 修理（行政文書）

行政文書 県庁戦前 A 士族のうち損傷の著しい 2 冊を一般社団法人 国宝修理装潢師連盟（福岡県太宰府市）に業務委託し修理した（国庫補助事業 県 50%）。

(2) 修理（絵図）

今年度は実施しなかった。

(3) 資料燻蒸

新収資料の 11 件 55 箱について天幕燻蒸を実施した（業者委託、11/25～28）。

## 7 利用

(1) 文書館利用状況

開館日数 277 日（前年度 271 日）  
入館者 4,823 人（前年度 4,683 人）  
閲覧者 2,076 人（前年度 1,763 人）であった。

このうち、閲覧者の内訳と閲覧文書点数の状況は、以下（5）及び（6）のとおり。

(2) ホームページ利用者数

平成 15 年 4 月から供用を開始したホームページのアクセス件数は、平成 26 年度末現在で 625,877 件（この 1 年間では 121,517 件）となった。

(3) 調査室（閲覧室）利用者数

区分	入館者	閲覧者	特別使用区分	複写台	絵図室	特別室	合計
H26年度	4,823	2,076	H26年度	1,183	190	42	1,415
(H25年度)	(4,683)	(1,763)	(H25年度)	(989)	(142)	(12)	(1,143)

## (4) 閲覧者数の状況

職業		平成 26 年度				平成 25 年度	
		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)	比率 (%)	合計 (人)	比率 (%)
教員	大学	88	142	230	12.8	177	12.3
	小・中・高校	26	4	30		36	
	その他	3	2	5		4	
学生	大学院	18	133	151	18.5	92	21.0
	大学・その他	190	44	234		279	
公務員	国	5	9	14	18.2	3	15.9
	都道府県	202	28	230		153	
	市町村	120	13	133		124	
博物館・研究機関		7	15	22	1.1	47	2.7
報道・出版		54	28	82	4.0	45	2.7
その他一般		783	162	945	45.5	803	45.5
合計		1,496	580	2,076	100.0	1,763	100.0
前年度比		170	143	313	—	-441	—
S44 年以來の累計		—	—	91,593	—	89,517	—

## (5) 閲覧文書点数の状況

区分	平成 26 年度		平成 25 年度	
	点数 (点)	比率 (%)	点数 (点)	比率 (%)
毛利家文庫	6,598	30.3	12,317	44.8
徳山毛利家文庫	1,164	5.3	240	3.4
県庁伝来旧藩記録	580	2.7	361	2.2
山口小郡宰判記録	43	0.2	17	0.3
郡役所文書	275	1.3	181	0.8
行政文書	2,868	13.2	3130	10.6
行政資料	1,161	5.3	406	1.2
諸家文書	6,243	28.7	4,412	23.1
三卿伝史料	123	0.6	67	0.4
両公伝史料	625	2.9	692	4.0
県史編纂所史料	265	1.2	291	1.0
一般郷土史料	97	0.4	223	0.8
軸物資料	324	1.5	167	1.2
複写資料	1,241	5.7	645	5.9
図書	81	0.4	62	0.4
その他	98	0.4	31	0.0
合計	21,786	100.0	23,242	100.0
S44～H26 年度累計	906,128	—	884,342	—

## (6) 特別利用の状況

区分	特別閲覧	複写	出版物等掲載	模造品製作	貸出	レファレンス件数
H26 年度	59	1,183	461	0	9	1,120
(H25 年度)	(38)	(989)	(271)	(0)	(8)	(1,071)

(7) 貸出

江戸東京博物館	NHK 大河ドラマ特別展「軍師官兵衛」 (毛利家文庫絵図 4 点)
村上水軍博物館	特集展「海の特シヤリスト 小説『村上海賊の娘』にみる“海賊働き”とは」 (村上家文書ほか 6 点)
萩博物館	特別展「描かれた幕末の萩藩—攘夷から倒幕へ、萩藩苦難の道程—」 (毛利家文庫ほか 9 点)
県立山口博物館	企画展「きらり！人物伝」 (毛利家文庫 2 点)
福岡市博物館	NHK 大河ドラマ特別展「軍師官兵衛」 (毛利家文庫絵図 5 点)
北九州市立自然史・歴史博物館	企画展「黒田官兵衛、九州上陸！！」 (毛利家文庫など 3 点)
下関市立東行記念館	特別展「晋作決起—長州復権への道—」 (毛利家文庫など 7 点)
九州国立博物館	特別展「戦国大名—九州の群雄とアジアの波濤—」 (高洲家文書 3 点)
山口市小郡文化資料館	企画展「描かれた小郡—小郡宰判絵図にみる幕末の風景—」 (毛利家文庫絵図など 5 点)

8 刊行物

26 年度の刊行物

- ① 『山口県文書館研究紀要』第 42 号 (H27.3.27 発行) A5 判 142 頁
- ② 『文書館ニュース』第 49 号 (H27.3.27 発行) A4 判 8 頁

9 地方調査員

(1) 地方調査員会議

第 1 回 平成 26 年 6 月 18 日 県立山口図書館第 2 研修室

- ・活動報告
- ・地区別打ち合わせ
- ・研修「近年の文化財保護行政について」専門研究員 吉田真夫

第 2 回 平成 27 年 2 月 4 日 県立山口図書館第 2 研修室

- ・活動報告
- ・研修「楫取素彦について」館長 長谷川信明
- ・研修「山口県立山口図書館の楫取素彦関係図書について」山口図書館主任 渡辺佳代子
- ・地区別打ち合わせ

(2) 地方調査員による文書調査報告実績

地方調査員から延べ 18.3 日、147 時間の活動実績報告があった。

(3) 地方調査員名簿 (任期 平成 25.4.1～平成 27.3.31)

担当地域	氏名	担当地域	氏名
玖珂	惠本洋嗣	厚狭	吉本一雄
玖珂	山田豊	豊浦	安富静夫
都濃	佐伯隆	大津	岡藤正作
吉敷	佐久間努	阿武	寺山忠満

## 10 広報・普及

### (1) 広報活動

『文書館ニュース』第49号（A4判8頁）を発行した。

その他、教育庁、県広報広聴課の広報媒体やイントラ、ホームページ、テレビなどマスコミを使い、諸事業の広報を行った。

### (2) 第9回中国四国地区アーカイブズウィーク

5月31日～6月8日実施。参加者は延べ766人。詳細は以下のとおり。

<アーカイブズ展示>5月31日～6月8日（文書館閲覧室）

「古文書に見る防長の美術工芸品」

参加者 399人。

<歴史探究講座>6月7日（県立山口図書館レクチャールーム）

「文書と防長ゆかりの美術品」

「狩野古信の雪舟筆「山水長巻」模写について」

参加者 100人。

<ギャラリートーク>6月7・8日（文書館閲覧室）

専門研究員がアーカイブズ展示の解説を行った（計4回）。

参加者 76人。

<文書館を使ってみよう！>6月1日（県立山口図書館第1研修室・文書館閲覧室）

専門研究員が文書の取り扱い方や文書館の利用方法をガイドした。

参加者 14人。

<アーカイブズ歴史小話>6月1・8日（県立山口図書館第1研修室）

専門研究員がアーカイブズに関する「ちょっといい話」をリレー形式で紹介した。

参加者 116人。

<書庫見学ツアー>5月31日～6月8日（文書館書庫）

専門研究員の解説で、普段公開していない書庫の見学ツアーを行った。（計10回）

参加者 61人。

### (3) 資料小展示

閲覧室の入口に設置している展示ケースを使用して、以下の小展示を行った。

期間	展示題目	担当
4月	近代貨幣の移り変わり —新貨条例から終戦まで—	山本
5月	神代直人の捕縛 —大村益次郎襲撃事件顛末—	伊藤
6月	「防長古器考」の図	吉積
7月	田植	金谷
8月	館蔵資料にみる黒田官兵衛	吉田
9月	新収・益田高友家文書の紹介	和田
10月	明治時代の県庁書庫	山崎
11月	江戸時代の将棋 —萩藩の強豪“真甫”—	山本
12月	貞享2年地震 —古文書に見る防長両国の被害—	伊藤
1・2月	万歳 —正月のことほぎ—	金谷
3月	吉田松陰自賛肖像	吉田

(4) 古文書入門講座（於：県立山口図書館第1研修室）

古文書入門講座を5～2月の毎月1回、第4土曜日（14時～16時）に開催した。今年度も申込者が多く、抽選の上、受講者30名を決定した。実施内容は次のとおり。

日程	主題	講師
5月～9月	古文書に慣れよう	山本
10月～2月	国司広孝「聞書」（毛利家文庫16叢書36）を読む	金谷

(5) 古文書専修講座（於：県立山口図書館第1研修室）

各地で開催されている古文書講座や、当館開催の入門講座など、古文書講座の受講経験者を対象に、5～2月の毎月1回、第2土曜日（14時～16時）に開催した。受講者は、抽選の上36名を決定した。実施内容は次のとおり。

日程	主題	講師
5月～9月	「就御内用徳山江宮本八郎右衛門一同ニ被差越候一件」を読む	吉田
10月～2月	「貞享地震の記録を読む」「孝婦いしの生涯」「鬼平と萩藩」を読む	伊藤

(6) 古文書実践講座（於：県立山口図書館第1研修室ほか）

各地で開催されている古文書講座や、当館開催の入門講座など、古文書講座の受講経験者を対象に、5～2月の毎月1回、第2土曜日（10時～12時）に開催した。受講者は、21名であった。実施内容は次のとおり。なお、解説した古文書の積文は解説をつけて当館のWebサイトで公開した。

日程	主題	講師
5月～2月	「四国旅日記」「嘉永七年相州警備道中日記」「奥阿武郡養老嬰育仕法帳」「孝行教訓歌」の各史料を自主的に解説する	山崎・和田 ・吉積

(7) 文書館活用講座（於：県立山口図書館第1研修室等）

県内の小・中・高校・特別支援学校の教員を対象に、学校教育に文書館資料を活用する契機を提供することを目的に、8月5～8日の4日間、集中して実施した。今年度から「入門コース」「実践コース」の2コース制とした。受講者は11名で、その内容は次のとおり。

入門コース

日程	午前	午後
8/5	文書館を知ろう（金谷）	文書館の資料を見てみよう（吉田・伊藤）
8/6	文書館の資料を見てみよう	（山本・和田・山崎）

実践コース

日程	午前	午後
8/7	資料の探し方や教材化について学ぼう（山本）	授業で使える資料を集めてみよう
8/8	資料の活用方法－絵図を片手に街を歩こう－（伊藤・山本）	授業で使える資料を集めてみよう 発表会

(8) 歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議

公文書館法（昭和62年法律第115号）および公文書管理法第34条（平成21年法律第66号）

の趣旨に基づき、県及び県内の市町が保管する公文書及び地域に伝存する文書記録類を歴史資料として保存活用することに関して、県及び市町相互の連絡と協調を図り、もって行政の円滑な推進及び文化の発展に寄与することを目的として実施した。

10月31日に実施し、全市町等から30名の参加があった。

#### (9) 行政文書保存管理研修会

歴史的資料となる行政文書を確実に遺すための研修会を学事文書課の情報公開制度及び個人情報保護制度実務研修会と併せて行った。

11月7日に実施し、約90名の参加があった。

### 11 研究活動

#### (1) 研究実績（『山口県文書館研究紀要』第42号（H27.3）は『紀要』第42号と略記した）

- ・金谷匡人
  - 「『防長風土注進案』にみる稲作と農耕儀礼」（『紀要』第42号）
  - 「山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー学校教育編（5）ー」（『紀要』第42号）
- ・和田秀作
  - 「山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー学校教育編（5）ー」（『紀要』第42号）
- ・山崎一郎
  - 「萩藩における張付師・表具師について」（『紀要』第42号）
  - 「萩藩当職所の文書整理と当職所記録方」（『幕藩政アーカイブズの総合的研究』H27.1）
- ・山本明史
  - 「山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー学校教育編（5）ー」（『紀要』第42号）
  - 「山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー学校教育編の取り組み」（『記録と史料』第25号 H27.3）
- ・吉田真夫
  - 「防長国並 一徳川將軍発給領知判物からー」（『紀要』第42号）
- ・伊藤一晴
  - 「貞享二年地震関係史料 ー山口県域の被害状況ー」（『紀要』第42号）
  - 「蹴馬之党と強雇」（『奈良・平安時代の「知」の相関』H27.1）
- ・吉積久年
  - 「山口革について」（『紀要』第42号）

#### (2) 研究会等

- ・金谷匡人
  - 山口県立大学「地域学」講義「伝承の中の真実と歴史」（5/8）
  - 柳井市民勉強会講演「妙見信仰とは何か」「大内氏と妙見信仰」（7/13、7/27）
  - 慶尚南道日本語教師研修旅行講義「山口県の歴史と文化財」（7/25）
  - 山口大学公開講座講演「俵山の雨蛇のこと」（10/4・5）
  - 梅光学院大学地域文化研究所30周年記念講演会講演「海賊たちの中世」（11/8）
  - 大内文化探訪会記念講演「大内氏をめぐる動物たち」（1/17）
- ・和田秀作
  - 雪舟研究会（7/8、11/29）
- ・山本明史
  - 高教研社会部会山口地区協議会「文書館と学校教育」（12/2）
- ・吉田真夫
  - 国立公文書館平成26年度アーカイブズ研修Ⅱ「事例報告①中国四国地区アーカイブズウィークについて」（1/20）

### Ⅲ 平成 27 年度の計画

#### 1 業務

##### (1) 保存対策

国指定重要文化財 山口県行政文書の修復

##### (2) 刊行物

『山口県文書館年報（平成 26 年度）』（デジタル刊行）

『山口県文書館研究紀要』第 43 号の刊行

『文書館ニュース』第 50 号の発行

##### (3) 普及活動

アーカイブズウィーク（対象 一般県民）

平成 27 年 6 月 2 日～7 日

会場 文書館閲覧室、県立山口図書館レクチャールーム及び研修室等

##### 古文書講座

古文書入門講座（定員 30 名）

会期 平成 27 年 5 月～平成 28 年 2 月の第 4 土曜日（10 回）

会場 県立山口図書館研修室

対象 一般県民

古文書専修講座（定員 36 名）

会期 平成 27 年 5 月～平成 28 年 2 月の第 2 土曜日（10 回）

会場 県立山口図書館研修室

対象 一般県民

古文書実践講座（定員 20 名）

会期 平成 27 年 5 月～平成 28 年 2 月の第 2 土曜日（10 回）

会場 県立山口図書館研修室

対象 一般県民

授業で使える 文書館活用講座

会期 平成 27 年 8 月 4・5 日 入門コース

8 月 6・7 日 実践コース

会場 文書館・県立山口図書館研修室等

対象 県内の小・中・高・特別支援学校の教員

行政文書保存管理研修会（対象 行政機関の担当者）

歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議（対象 行政機関の担当者）

##### (4) その他

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会調査・研究委員会事務局（H27・28 年度）

2 職員（平成 26.4.1～）

所属	氏名	主な担当業務
館長（非常勤）	長谷川信明	館務統轄
副館長	金谷匡人	業務総合調整・館内管理・予算決算
専門研究員	山崎一郎	閲覧利用・広報・普及に関すること
〃	和田秀作	諸家文書に関すること
〃	吉田真夫	藩政文書に関すること
〃	山本明史	行政資料に関すること
〃	伊藤一晴	行政文書に関すること
（兼）総務管理グループリーダー	尾上俊昭	庶務会計等
（兼）主事	辻岡優	〃
嘱託職員	吉積久年	文書整理
臨時職員	羽鳥由貴	閲覧提供業務の補助、文書整理の補助

3 地方調査員（任期 平成 27.4.1～平成 29.3.31）

担当地域	氏名	担当地域	氏名
大島	高木泰伸	厚狭	吉本一雄
玖珂	惠本洋嗣	豊浦	安富静夫
玖珂	山田豊	大津	岡藤正作
都濃	佐伯隆	阿武	樋口尚樹

4 当初予算（単位：千円）

事業費	予算額（千円）	事業概要
文書館運営費	8,785	運営関係費
文書保存整理刊行費	2,326	文書の整理等
文化事業費	2,337	古文書講座・文書の修復等
合計	13,448	